

岡森連時報

新年のごあいさつ

岡山県森林組合連合会
代表理事会長 小野泰弘

発行
岡山県森林組合連合会
岡山市北区橋津491-1
電話086(236)6530
FAX086(236)6531

ホームページ



Instagram



鬼ノ城からの日の出
(写真元)岡山観光WEB



謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平素から森林組合系統の業務推進に格別のご支援・ご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。
昨年5月には、天皇・皇后陛下をお迎えし、第74回全国植樹祭が岡山市で57年ぶりの開催となりました。また前日には、全国林業後継者大会が津山市で開催され、全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業の魅力を全国に発信するなど、林業関係者にとって有意義な大会となりました。本大会にご協力いただきました

した森林組合系統の皆様には心より感謝申し上げます。
さて、近年の森林・林業を巡る状況においては、戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎えた中、林業・木材産業を持続的に成長させていくため、国では、適切な伐採や再造林等による森林資源の適正な管理、新技術の活用等による生産性や安全性の抜本的な向上、国産材製品の競争力強化などが推進されており、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を実現していくことで、2050年カーボンニュートラルに寄与するととされています。
こうした中、令和6年度から森林経営管理制度の財源となる森林環境税の徴収が始まり、森林・林業の役割や、その重要性が益々注目されているところで、
当会においても、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を掲げ、再造林と

その後の下刈に要する経費を支援する「皆伐・再造林促進支援事業」、造林作業等の労働強度低減を目的としたドローンによる「苗木や林業資材運搬サービス」、また、県下3箇所の木材共販所に加え、「中間土場におけるサテライト共販」を推進し、輸送コストの削減によるCO₂排出量の削減を図ることで、より一層、SDGs達成に向けて取り組んでいるところで、併せて、花粉症対策の一つとして舌下免疫療法原料となる「スギ花粉採取事業」ではスギ枝の確保を積極的に行い、採取に取り組んでいます。
また、地域林業の中心的な担い手としての森林組合組織を確立するため、安全装備導入や労働安全の啓発による労働災害の防止に努め、更に効率的な森林施業や木材生産、労働安全の確保に資するためのICTを活用したスマート林業実現に向け、関係機関や会員と連携し取り組んでまいります。
本年も引き続き、岡山県森林組合連合会への皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹んで初春のお慶びを申し上げます
元旦

岡山県森林組合連合会

- 代表理事会長 小野 泰弘
- 副会長理事 竹本 俊郎
- 代表理事専務 池田 稔
- 理事 小椋 美博
- 理事 植月 哲夫
- 代表監事 完田 二郎
- 監事 久内 昌平
- 監事 小橋 仙敬
- 総務部次長(兼総務指導課長) 阪本 明日香
- 事業部次長(兼津山支所長) 池上 祐司
- (兼新見担当) 近藤 晃
- 総務部参与 井上 純一
- 研修課長 小松 庸介
- 業務課長 大山 淳
- 木材販売課長 奥山 総一郎
- 新見支所長 小川 誠

役員一同



岡山県農林水産部長
中山 均



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から森林・林業行政をはじめ県行政の全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年開催した「第74回全国植樹祭」及び「第52回全国林業後継者大会」につきましては、県内外から多くの皆様にご参加いただき、盛会のうちに大会を終えることができました。今回の大会が、県民の皆様と森林やみどりの大切さをあらためて知っていただくきっかけとなり、みどりあふれる郷土が未来へ継承されるよう、引き続き取り組んでまいります。

さて、本県のヒノキをはじめとする人工林資源は本格的な利用期を迎えており、この豊かな森林資源を有効に活用するとともに、森林が持つ水源のかん養

や二酸化炭素吸収などの公益的機能を将来にわたって発揮させていくためには、県産材の安定供給体制の整備や一層の需要拡大、再造林や間伐などの適切な森林整備を行い、林業のサイクルを循環させていくことが重要となっております。

こうした中、県では、豊かな森林資源を循環利用するため、森林認証材など県産材の供給体制の整備や木材・木質バイオマスの利用を推進するとともに、森林経営計画に基づく計画的な主伐や間伐、主伐後の確実な再造林により、森林資源の若返りと齢級構成の平準化を促進するほか、森林経営管理制度の適切な運用への支援、林業の担い手の確保・育成・定着、少花粉スギ・ヒノキへの植替えの促進などに取り組んでいるところです。

また、現在、森林整備や林業・木材産業の振興等を推進していくための基本方針である「21おみやま森林・林業ビジョン」の見直し作業を進めており、重点施策に確実な再造林の推進を加えるなど、森林・林業を取り巻く様々な課題に的確に対応することとしております。

岡山県森林組合連合会並びに各森林組合におかれましては、地域の森林管理の中心的な担い手として、また意欲と能力のある林業経営体として、適切な森林整備と県産材の安定供給にご尽力を賜りますようお願いいたします。

最後にありますが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

全国森林組合連合会
代表理事会長
中崎 和久



年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、弊会の業務運営につきまして格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、年初の「能登半島地震」に始まり、8月には日向灘で発生した地震により、はじめ「南海トラフ巨大地震注意」が発表される等、地震が相次いだ年でありました。震災以外にも集中豪雨等、全国各地で災害が頻発しており、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。弊会といたしましても、政府に所要の要請を行うと共に、

今こそ「緑の国土強靱化」による防災・減災への取組を強化して参らなければならぬと考えるところであります。こうした中、昨年4月から森

林環境譲与税の配分が見直され、山間部の自治体に多く配分されることとなりました。全国の森林組合系統の皆様におかれましては、引き続き地元都道府県及び市町村と連携し、森林環境譲与税を余すことなくしっかりと活用して地域の森林整備等を進めていただきたくお願い申し上げます。

さて、政府においては花粉症対策として花粉の少ない森林への転換促進対策が推し進められており、森林組合系統はその担い手として事業に取り組んでいるところと見られます。森林組合系統運動「J Forest ビジョン2030」においても、「伐つて、使つて、植えて、育てる」循環型林業の確立を掲げ、系統全体で主伐再造林に取り組むこととしており、花粉発生源対策の取組と合わせて引き続き推進していく所存です。

一方、昨今の少子高齢化等の影響を受け、森林整備等を担う人材の確保が全国的な課題となっております。弊会では、これまで林野庁補助事業「緑の雇用」事業の実施主体として、全国の森林組合をはじめとした林業経営体の人材確保・育成を支援して参りました。加えて、弊会が事務局を務める一般社団法人林業技能向上センターでは、林業の現場技能者の技能向上による人材育成を図り、労働安全の確保、林業労働者の処遇改善や人

材確保に資することを目的として、林業における技能検定制度の構築に取り組んできたところ、昨年8月に職業能力開発促進法施行規則等が改正され、技能検定制度種に林業が追加されるとともに、技能検定制度が始動いたしました。

また、昨年9月にオーストラリアで行われた世界伐木チャンピオンシップ(WLC)では、初めて日本人選手が総合でメダルを獲得するという嬉しいニュースがありました。今年も弊会が中心となり、第6回日本伐木チャンピオンシップ(JLWC)の開催を予定しており、多くの選手が切磋琢磨し、更なる現場技能者の技術や地位の向上、安全対策の推進に資することを期待しております。

本年2025年は、国連決議に基づく「国際協同組合年」です。これは、2012年から二度目の宣言となり、SDGsの達成に向けた協同組合の取組が世界に認められた証であります。我々協同組合はこの期待に応えるべく、一層、SDGsの達成やカーボンニュートラル社会の実現等、社会課題の解決に向けた取組を「実践」し、広く「発信」して参らなければなりません。本年の「IYC2025国際協同組合年」を契機とし、森林組合系統の活動に対する社会の認知を高めるとともに、森林組合系統の更なる発展と「JF

材確保に資することを目的として、林業における技能検定制度の構築に取り組んできたところ、昨年8月に職業能力開発促進法施行規則等が改正され、技能検定制度種に林業が追加されるとともに、技能検定制度が始動いたしました。

「orestビジョン2030」の実現を目指して参りましょう。今後、弊会では系統関係者及び関連団体とともに、人材の確保・育成、森林資源の循環利用、国産材利用促進等に向け、役員一同精進する所存です。倍旧の御指導、御協力を賜りまじようお願いします。

結びに、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げます、新年の御挨拶いたします。

**農林中央金庫
岡山支店長
松本 和寿**



謹んで新年のお慶び申し上げます。皆様におかれましては、当金庫業務につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、岡山県にて57年ぶりの2回目となる全国植樹祭が開催されました。当日は天皇皇后両陛下に御臨席いただき、各種セレモニーを通じて、改めて岡山県の森林および林業について全国的な発信が行われました。

本機会を通じ、岡山県の森林及び林業により一層関心が高まることを期待しております。

国内景気につきましては、緩やかな回復が続いております。インフレによる生産資材や燃料費の価格高騰による農林漁業への影響は未だ大きなものでございますが、当金庫といたしましては、関係団体と連携し金融・非金融両面から対応を実施してまいります。

近年、温室効果ガスの排出削減に限らず、生態系の保全など世界的に環境保護の取り組みが活発化しております。それに伴い、温室効果ガスの吸収、生態系保全、水源保全など様々な環境要因を包含する森林に注目が集まっております。

当金庫においても、2030年中期目標として「会員と一体となった森林由来のCO₂吸収」を掲げており、林業ならびに森林組合系統の皆様と連携し、多様な支援活動・適切な金融機能の発揮に取り組んで参ります。

その取り組みの一つであるJ-クレジット組成では、森林組合の皆様の日々のご業務にたいし、認証を受けることで更なる付加価値を創出することを目的としております。クレジットの販売によって森林組合の所得向上に繋がると同時に、購入者の方へ森林の重要性とその機能をお伝えできると考えており、岡山県森林組合連合会様と連携し

て組成を検討される皆様のサポートや販売先の確保へ力を入れてまいります。

また、労働安全性向上にむけたサポートや、低コスト再造林プロジェクトなど引き続き取り組んでまいります。

本年も皆様のお役に立てるよう、これまで以上に一層積極的に取り組みを行ってまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びになりますが、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

陳情について

7年度岡山県予算編成に関する各種団体個別懇談会に出席し、自民党県議団へ陳情書を次のとおり提出しました。

本県の森林資源は、戦後造成された人工林を中心に本格的な利用期を迎えています。木材価格の長期低迷により森林所有者の林業活動への関心が低下し、間伐等の適切な森林整備が適切に行われない人工林や皆伐後、再造林が行われていない森林がみられ、森林の有する木材生産機能、水源涵養機能などの多面的機能の持続的な発揮が懸念される状況にあります。

一方、おかやま森づくり県民税については、課税期間が延長されるとともに、森林環境税に

ついても徴収が始まっており、今後の森林林業施策については、多くの県民から注目を集めているところではあります。

こうした中、森林組合系統は一丸となり、「林業の成長産業化」を現実のものとするために、「森林の集約化、間伐、皆伐・再造林などの森林整備や担い手の確保・育成、県産材の安定供給と利用促進に努めているところであり、

つきましては、次の事項の実現に向け、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 脱炭素社会実現に向けた新たな仕組みづくり

令和6年度全国森林組合代表者大会受賞者

令和6年10月16日に銀座プロッサム中央会館（東京都）にて、全国森林組合代表者大会が開催され表彰行事が行われました。本県の受賞者は下記のとおりです。



▲ 会場の様子（銀座プロッサム）

- 2 森林環境譲与税の使途と森林経営管理制度の推進に向けた市町村への指導について
- 3 適切な森林整備の推進支援について
- 4 環境に配慮した森林経営と県産材の需要拡大について
- 5 人材の確保・育成と労働安全対策について
- 6 物価高騰対策について



《受賞者》

○功労者表彰（永年勤続）

- 組合役員
丸田一徳（井原市森林組合）
単位組合職員
松下和弘（真庭森林組合）
山本総太（津山市森林組合）

- 現場技能者
野村英明（岡山森林組合）
齋木基至（津山市森林組合）
神田大輔（美作東備森林組合）
北島宏明（備中南森林組合）

○感謝表彰
退職者の永年勤続

平井修二（美作東備森林組合）
この度は、栄えある受賞、誠に
おめでとございます。今後益々
のご活躍をお祈りいたします。

第36回民有林優良材展示コンクールを開催

総取扱数量4千³m

令和6年11月8日、津山木材共販所にて、『第36回岡山県民有林優良材展示コンクール』を開催しました。森林組合をはじめ多くの方々のご協力のもと、約4千4百³mの出荷をいただき、多量の優良材を揃えることができました。

コンクールへの出品は、県北を中心にスギ34点ヒノキ72点の計106点ありました。審査は、枝打ちなど保育施業の5項目と色艶などの3項目について判定し、農林水産大臣賞のほか、7つの賞に対して12点が選出されました。

最高位の農林水産大臣賞には、歌房進修さん（津山市）のヒノキ（4m×径34〜36cm）が選ばれました。

当日、11時から行われた記念式典では、小野会長から、「この度、受賞された皆様、誠におめでとうございました。受賞されました皆様方の、長年の丁寧な保育の成果に対し心より敬意を表する次第でございます。木造住宅新設着工戸数の低迷等により、国内の木材需要の減少とともに原木市況は不安定な状況にあります。しかし、私たち森林組合系統は、「伐って使って植えて育てる」森林の持続可能なサイクルを回していくために、皆伐・



再造林促進支援事業をはじめ様々な施策を展開し、次世代により良い森林資源を残せるよう今後も引き続き邁進して参りますので、皆様方におかれましてはご協力賜りますようお願い申し上げます。」と挨拶がありました。

再造林促進支援事業をはじめ様々な施策を展開し、次世代により良い森林資源を残せるよう今後も引き続き邁進して参りますので、皆様方におかれましてはご協力賜りますようお願い申し上げます。」と挨拶がありました。

《受賞者》

農林水産大臣賞	歌房 進修	津山市
林野庁長官賞	岡森岡林業 代表取締役 森岡和雄	津山市
近畿中国森林管理局長賞	野澤 正人	美作市
岡山県知事賞	大釜 環	美咲町
農林中央金庫岡山支店長賞	岡田 博士	津山市
岡山県木材組合連合会長賞	近藤 健一	津山市
全国森林組合連合会長賞	久保田 知良	津山市
岡山県森林組合連合会長賞	松本 智行	真庭市
岡山県森林組合連合会長賞	上分自治会	鏡野町
岡山県森林組合連合会長賞	北村 一治郎	津山市
岡山県森林組合連合会長賞	杉山 積光	岡山市
岡山県森林組合連合会長賞	延原 陽子	奈義町

岡山県民有林優良材展示コン



▲ 小野会長挨拶

新見地区木材まつり 総取扱数量4千650³m

令和6年10月23日、新見木材共販所にて、新見地区木材組合（戸川陸徳組合長）主催による「第48回新見地区木材まつり展示会」が開催されました。



▲ 競り売りの様子

新見市内を中心に県内外の多くの方々のご協力のもと、総取扱数量4千650³mの出荷をいただき、多量の優良材を揃えることができました。

当日は県内をはじめ県外からも買方が多く集まり、活気に溢れた市となりました。

また、式典が開催され、優良材出品者に県知事賞、近畿中国森林管理局長賞、新見市長賞など10点について表彰が行われました。

最高位の県知事賞には、（株）金山林業のヒノキ（4m径×58cm）が選ばれ、競り売りでは単価50万円/mの高値で競り落とされました。

なお、各賞の受賞者は左記のとおりです。

《受賞者》

岡山県知事賞	株式会社金山林業
近畿中国森林管理局長賞	有限会社三門林産
新見市長賞	入澤 陸 美
岡山県木材組合連合会長賞	金山 次 夫
新見市森林組合長賞	株式会社戸川木材
新見商工会議所会頭賞	株式会社阿部宏文
備北民報（株）社長賞	株式会社山崎木材
岡山県森林組合連合会長賞	清川木材有限会社
新見地区木材買方組合長賞	片岡 林 業
新見地区木材組合長賞	柴田 材 木 店

木工教室を開催

県産材の魅力を発信

当会木材センター倉庫の一部を改装し、DIY等に興味のある一般消費者向けの「岡山県産材ショップ」を昨年7月にオープンし、施設の認知度向上および県産木材の良さを周知することを目的として、令和6年10月19日に第5回目となる木工教室を開催しました。

当会で販売している岡山県産森林認証合板(12・24mm)を加工した「丸椅子」や「背もたれ椅子」、本立てなどの木工工作に市内の親子連れら13組(30名ほど)が取り組みました。

また、12月1日には新見市内のイベントで出張木工教室を開催し、多くの方が椅子作りを体験されました。



▶ 出張木工教室の様子(新見)

参加者の一人からは、「釘打ちが楽しかった。また来てやりたい」と喜びの声をいただきました。

当会木材センターで行う木工教室は、今後も定期的に開催し、アンケート等を参考に、参加者に喜ばれる内容でのイベントを開催してまいりたいと思います。次回は令和7年1月11日に開催します。

詳細は当会HPをご覧ください。



▲ 椅子を制作している参加者

また、県産材製品は常時展示販売しており、営業時間は平日9時から15時、第1、第3、第5土曜日は9時から11時半、DIYで使いやすいヒノキ1×3mの18mm×38mm×38mm、140mmなどの板類、羽目板やフロアリング材を取り揃え、今後も、岡山県産材の普及・啓発に努めてまいります。



ホームページ



ヒノキのくに岡山から、100% 岡山県産材の合板が誕生

県産森林認証材 ◇ 12mm厚 910mm×1820mm
JAS 桧構造用合板 ◇ 24mm厚 910mm×1820mm



※県産森林認証合板を床・壁・屋根に一定量以上使用すると、令和6年度おかやまの木で家づくり支援事業の助成を受けることができます。

お問い合わせ 〒701-1202 岡山市北区橋津485
岡山県森林組合連合会 木材センター ☎086-284-0299

植樹祭記念事業 (アフター地域植樹)

第74回全国植樹祭が開催されたことを記念して、県民の緑化意識のさらなる醸成を図るために、10月19日に津山市阿波で県民参加の植樹イベント(アフター地域植樹)が開催されました。

当日は、天皇陛下が植樹祭でお手植えされた少花粉スギを含む6本の定植セレモニーが行われました。

また、県内の児童生徒らが育てた少花粉ヒノキやコナラ等の苗木を地元の方等が植樹されました。植樹地である津山市阿波地区大ヶ山牧場跡地は、過去にスキー場と

して利用されていきました。植樹により、牧場跡地に広葉樹・針葉樹の森を再生させることを目的としています。



▲ 植樹の様子

スギの枝 買います!

- ◆ 実付きの良いスギ枝を買い取ります。
- ◆ 実付きの良いスギの木の情報提供をお願いします。高所作業車が設置できるところは、枝の採取に伺います。

お問い合わせは _____
岡山県森林組合連合会 業務課 真庭市勝山1884-6
電話：0867-44-2691 email：ok-gyomu@okmoriren.or.jp

第57回岡山県農林漁業 功労者表彰受賞者

農林漁業の振興のために献身的な活動を続けられた方々の受賞が左記のとおり決定しました。

○農林水産部長表彰

【団体指導者 部門】
新見市森林組合
組合長 竹本俊郎

この度は、栄えある受賞、誠にありがとうございます。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

令和6年度緑の雇用集合研修が修了

令和6年12月6日、緑の雇用3年生の集合研修が終わり、新たに21名のフォレストワーカーが誕生しました。

緑の雇用では、認定事業体に所属する林業未経験者及び、林業に就業して2年以内の方を対象に、3年間の研修を行い、林業に必要な、知識・技術・安全対策などを学びます。

今年の3年生は離脱者や退職者が非常に少なく、林業のこと全般に熱心な研修生が多いイメージでした。

伐倒技術、重機の操作についてもレベルが高く、率先して講義に参加する姿も見られました。



集材・造材の研修の様子



令和6年度フォレストワーカー研修生

また、安全意識も非常に高く、リスクアセスメントやKYミーティングでは労働災害の原因・対処についての意見がたくさんありました。

研修が修了して求められることが多くなりますが、労働災害には十分注意していただくのはもちろん、研修を通じて横のつながりも大事にして、他の経営体とも連携をとりながら岡山の林業を盛り上げてください。



新たにフォレストリーダー10名誕生

令和6年11月29日、担い手確保支援事業の現場管理責任者（フォレストリーダー）研修の修了式を執り行いました。今年度は、新たに10名のフォレストリーダーが誕生しました。

フォレストリーダー研修では、フォレストワーカーからのキャリアアップを目的としているため、「安全指導」「コスト管理」「作業直作設」「目標林型」等、現場管理や指導者としてのスキルアップを目指す研修です。

座学が中心の研修となり、コスト管理や目標林型の研修で頭をかかえる研修生も

林業就業ガイダンス

令和6年8月10日、(公財)

岡山県林業振興基金主催の「林業就業ガイダンス」(岡山県委託事業)が森林研究所内の林業研修棟(勝央町)にて開催されました。

林業の仕事に興味がある方、就職・転職を考えている方に、5市町(新見市、津山市、鏡野町、美咲町、真庭市)がブースを設け地元の林業や移住した場の助成についての説明や、基金ブースでは未経験者・無資格者の方でも林業に従事しやすい

いましたが、実技研修になると、やはり経験が豊富なため対処方法や修正が早く、能力の高さを感じました。

修了後は指導者としての意識



▲フォレストリーダー
を高め、責任を持って
新人教育に力を注いでいただき、岡山の林業を盛り上げていくと共に、労働災害ゼロを目指して取り組んでいただけるものと期待しています。

「緑の雇用」等の研修制度があることに説明しました。

また、同時開催の「林業体験」では、森林組合などで林業に従事されている方を講師に高性能林業機械ハーベスタのシミュレーションやチェーンソーの操作体験を行いました。



▲重機体験の様子

森林保険

本年も森林保険の加入促進等のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



当日は、13名の参加があり、参加者の年代は20代〜60代と幅広く、1人当たりの相談時間は長く、とても熱心な方が多かったです。

今後、林業への従事を希望する方には、就業相談や情報提供をしていきます。

今年度は第2回目ですが、令和7年1月11日に当会本会にて開催されます。

